

## 2025 年度 日本都市学会総会報告

2025 年度日本都市学会総会は、2025 年 11 月 8 日（土）17：30 から 18：00 まで、佐賀大学本庄キャンパスにて開催されました。総会参加者数は 39 名でした。

石川雄一九州都市学会会長を議長に選任して、以下の議案 1～5 が審議され、いずれも原案通り可決されました。ひき続き 3 件の報告があり、いずれも了承されました。

議案 1 2024 年度事業報告

議案 2 2024 年度決算

議案 3 2025 年度事業計画（補足説明あり）

議案 4 2025 年度予算

議案 5 理事の承認

報告 1 2025 年度日本都市学会賞等について

報告 2 日本都市学会第 73 回大会について

報告 3 日本都市学会会員数の状況

### 議案 1 2024 年度事業報告

（1）日本都市学会第 71 回大会の開催

開催日時 2024 年 10 月 25 日（金）～27 日（日）

開催学会 日本都市学会・東北都市学会

開催都市 宮城県石巻市

開催テーマ「災害と文明—Reborn と希望—」

（2）日本都市学会年報の発行

VOL.57「データにもとづいた都市政策の形成：誰のウェルビーイングを目指すのか」

（2024 年 5 月発行）

（3）論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

（4）日本都市学会賞の選定

2024 年 3 月 15 日 外国語著作賞推薦等締め切り

2024 年 4 月末日 奥井賞・特別賞（学術共同賞）・特別賞（まちづくり賞）締切

2024 年 9 月 選考委員会開催、第 2 回理事会において決定

2024 年 10 月 26 日（土） 大会において授賞式

（5）日本都市学会総会の開催

2024 年 10 月 26 日（土）

（6）理事会の開催

第 1 回理事会（2024 年 6 月 30 日）

2023 年度事業報告・決算案、2023 年度事業計画・予算案、第 71・72 回大会予定、各事務局からの報告他

第 2 回理事会（2024 年 9 月 29 日）

2024 年度学会賞・論文賞等の決定、第 71 回大会予定、各事務局からの報告、会長候補者推薦他

第 3 回理事会（2024 年 10 月 25 日）

総会提出議案の決定、第 71 回大会直前確認事項、第 72 回大会予定、各事務局からの報告他

第 4 回理事会（2025 年 3 月 30 日）

2024 年度事業報告・決算見込み、2025 年度事業計画・予算案等、第 71 回大会報告、第 72 回大会予定、各事務局からの報告他

（7）日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.58 2024 年 7 月

日本都市学会ニュース No.59 2025 年 3 月

議案 2 2024 年度決算

2024年度決算  
(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

収入の部 (円)				
科 目	予算	決算	2023年度決算	備考
学 会 会 費 ( 当 該 年 度 分 )	1,666,000	1,594,600	1,652,400	469件分
学 会 会 費 ( 過 年 度 分 )	23,800	23,800	-25,400	北海道地域都市学会2023年度7件分
年 報 売 上 等	500,000	521,000	454,000	年報販売、抜刷負担金、超過頁掲載料
雑 収 入	100,000	67,631	116,473	学術著作権協会分配金、利息
前 年 度 繰 越 金	3,449,338	3,449,338	3,471,281	
計	5,739,138	5,656,369	5,668,754	

支出の部 (円)				
科 目	予算	決算	2023年度決算	備考
大 会 関 係 費	500,000	500,000	500,000	東北都市学会に一括支払い
理 事 会 関 係 費	400,000	237,634	130,927	交通費、第3回理事会食事代
論 文 審 査 委 員 会 費 関 係 費	50,000	0	32,040	
年 報 関 係 費	1,250,000	1,246,905	1,368,139	
前年度号(VOL. 56)	0	0	155,410	
当該年度号(VOL. 57)	1,150,000	1,246,905	1,163,229	印刷費、抜刷制作費、送料、通信費等
次年度号(VOL. 58)	100,000	0	49,500	
学 会 賞 関 係 費	100,000	75,360	38,737	賞状・記念品、送料
事 務 局 経 費	500,000	311,840	149,573	ニュース作成費、通信費、サーバー費等
備 品 費	10,000	0	0	
雑 費	60,000	0	0	
予 備 費	2,869,138	0	0	
次 年 度 繰 越	0	3,284,630	3,449,338	
合 計	5,739,138	5,656,369	5,668,754	

正味資産の部

資産 (2025年3月31日現在残高) (円)	
郵便振替口座	1,442,498
三菱UFJ銀行奈良支店	1,842,132
手持ち現金	0
計	3,284,630

負債 なし

以上の通りご報告申し上げます。

2025年7月4日

日本都市学会 前会計担当理事 西野淑美



2024 年度日本都市学会収支決算監査の結果について

日本都市学会会則第15条5の規定に基づき、2024 年度日本都市学会収支決算について、決算書、関係帳簿、証拠書類および預金通帳等を審査いたしました結果、適正に執行されていると認められましたのでご報告いたします。

2025 年 7 月 14 日 監事 野々山 和宏



2025 年 8 月 20 日 監事 松内 紀之



### 議案 3 2025 年度事業計画

#### (1) 日本都市学会第 72 回大会の開催

開催日時 2025 年 11 月 7 日（金）～9 日（日）

開催学会 日本都市学会・九州都市学会

開催都市 佐賀市

開催テーマ「スポーツとまちづくり」

#### (2) 日本都市学会年報の発行

VOL.58「災害と文明—Reboron と希望—」

(2025 年 5 月発行)

#### (3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

#### (4) 日本都市学会賞の選定

2024 年 12 月 外国語著作賞推薦等締め切り

2025 年 4 月末日 奥井賞・特別賞（学術共同賞）・特別賞（まちづくり賞）締切

2025 年 9 月 選考委員会開催、第 2 回理事会において決定

2025 年 11 月 8 日（土） 大会において授賞式

#### (5) 日本都市学会総会の開催

2025 年 11 月 8 日（土）

#### (6) 理事会の開催

第 1 回理事会（2025 年 7 月）

2024 年度事業報告・決算案、2025 年度事業計画・予算案、第 72・73 回大会予定、各事務局からの報告他

第 2 回理事会（2025 年 9 月）

2025 年度学会賞・論文賞等の決定、第 72 回大会予定、各事務局からの報告、会長候補者推薦他

第 3 回理事会（2025 年 11 月）

総会提出議案の決定、第 72 回大会直前確認事項、第 73 回大会予定、各事務局からの報告他

第 4 回理事会（2026 年 3 月）

2025 年度事業報告・決算見込み、2025 年度事業計画・予算案等、第 72 回大会報告、第

73 回大会予定、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.60 2025 年 7 月

日本都市学会ニュース No.61 2025 年 12 月

(8) 日本都市学会年報の電子公開の検討 【別紙参照】

議案 4 2025 年度予算

2025年度予算（案）  
（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

収入の部				(円)
科 目	2024年度予算	2025年度予算	備考	
学 会 会 費 ( 当 該 年 度 分 )	1,666,000	1,598,000	470件分で算出	
学 会 会 費 ( 過 年 度 分 )	23,800	0		
年 報 売 上 等	500,000	400,000	年報販売、抜刷負担金、超過頁掲載料等 学術著作権協会分配金、利息等	
雑 収 入	100,000	80,000		
前 年 度 繰 越 金	3,449,338	3,284,630		
計	5,739,138	5,362,630		

支出の部				(円)
科 目	2024年度予算	2025年度予算	備考	
大 会 関 係 費	500,000	500,000	九州都市学会に一括支払	
理 事 会 関 係 費	400,000	400,000	交通費、第3回理事会食事代、会場費等	
論 文 審 査 委 員 会 費	50,000	50,000	非会員査読謝礼、オンラインストレージ 契約料等	
年 報 関 係 費	1,250,000	2,050,000		
当該年度号(VOL. 58)	1,150,000	1,150,000	印刷費、抜刷制作費、送料、通信費等	
次年度号(VOL. 59)	100,000	100,000	第72回大会シンポジウム文字起こし費等	
J-STAGE対応	0	800,000	掲載対応+バックナンバーPDF化委託費	
学 会 賞 関 係 費	100,000	100,000	賞状・記念品、送料、消耗品等	
事 務 局 経 費	500,000	500,000	ニュース作成費、通信費、サーバー費等	
備 品 費	10,000	10,000		
雑 費	60,000	60,000		
予 備 費	2,869,138	1,692,630		
合 計	5,739,138	5,362,630		

議案 5 理事の承認

(2025 年度・2026 年度)

- (1) 支部会長理事: 松村茂（東北）、土居洋平（関東）、磯部友彦（中部）、久隆浩（近畿）、  
豊田哲也（中四国）、石川雄一（九州）

(2) 支部選出理事: 増田聡 (東北)、平井太郎 (関東)、小山弘美 (関東)、井澤知旦 (中部)、田中晃代 (近畿)、根田克彦 (近畿)、北川博史 (中四国)、山下宗利 (九州)

(3) 会務担当理事: 野村理恵 (北海道)、松本行真 (東北)、西野淑美 (関東)、児玉浩嗣 (中部)、阿部亮吾 (中部)、佐野光彦 (近畿)、川瀬正樹 (中四国)、車相龍 (九州)

※下線部の理事が今回の承認対象。波下線部は理事の選出区分の変更。  
変更になった理事の任期は前任者の残任期間。

#### 報告 1 2025 年度日本都市学会賞等について

選考委員会の報告に基づき、2025 年 9 月 28 日の第 2 回理事会において、次のように決定した。

(1) 日本都市学会賞(奥井記念賞)

伊藤嘉高 (いとうひろたか) 著 『移動する地域社会学—自治・共生・アクターネットワーク理論』(知泉書館、2024 年 3 月 10 日発行)

(2) 日本都市学会論文賞

該当なし

#### 報告 2 日本都市学会第 73 回大会について

開催都市 徳島市

期日 2026 年 10 月 23 日～25 日

会場 徳島大学常三島キャンパス

報告 3 日本都市学会会員数の状況

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
北海道	9	7	9	7	7	7	7
東北	65	58	58	48	47	50	52
関東	141	137	132	132	142	140	139
中部	90	87	86	79	81	80	77
近畿	149	139	123	120	111	105	96
中四国	43	47	47	48	47	45	44
九州	67	63	65	62	57	57	54
本部	1	1	1	0	0	0	0
合計	565	539	521	496	492	484	469

議案および報告に関連して、会員よりつぎの以下 3 点の意見があり、議論がありました。

①学会員の増加策、とくに若手会員の増加策について

②日本都市学会論文賞が「該当なし」となった件で年齢制限等の基準変更について

③年報の電子公開にともなう紙媒体の廃止によって、高齢会員の一部が退会する可能性と、それによる持続可能な学会運営への影響について

以上

学会ニュース 60 号にも記載された通り、理事会では現在、『日本都市学会年報』掲載論文を J-STAGE で公開していくことを検討してきた。以下、要点を捕捉する。

## 1. 著作権規程関係

### (1) 電子出版に関わる現在の権利関係について

現行（2004 年 10 月 1 日施行）の「日本都市学会査読付き論文投稿要領」の「9. 著作権（2）」では、「日本都市学会は、論文の編集出版権および複製に関する権利を持つものとする」とされている。また、2015 年 1 月 1 日に施行された改正著作権法において、編集出版権の中に電子出版の権利が含まれることとなった。

以上のことから、2015 年に刊行された年報 48 号以降の査読付き論文については、電子出版の権利を学会が持っている。

### (2) 規程改定の検討について

今後の年報の査読付き論文の公開、過去の年報の査読付き論文以外の公開等に向けて、その実施の可否も含め、理事会で検討のうえ、公開予定範囲に合わせた規程の改定を行い、来年度の総会に提案したい。

これに関連して、以下の点について、会員より意見を募りたい（この旨、今後、ホームページやニュースレターでも告知する）

#### 1) 査読付き論文以外の公開について

（過去の論文・現在の無査読論文・シンポジウム記録等のうち、何を電子公開するか）

#### 2) 最新号の記事の公開タイミングについて

（即時公開するか、1 年後公開とするか）

#### 3) 紙媒体雑誌の必要性について

（最終的に、電子ジャーナル化を目指すべきか）

意見送付先：日本都市学会年報事務局メール [journal@toshigaku.org](mailto:journal@toshigaku.org)

## 2. 年報バックナンバーの J-STAGE 登載について

・1 でも述べたように、2014 年刊行の 48 号以降は、現行の「日本都市学会査読付き論文投稿要領」でオンライン公開が可能である。よって 2025 年度は、48～57 号の査読付論文のみ J-STAGE 登載を提案する。

・アップロード作業+版下 PDF 化を業者委託する費用として、60～70 万円を予定している。

以上